



韓国大統領選 構図固まる



与党・李在明^前知事

VS. 野党・尹錫悦^前検事総長

来年3月の韓国大統領選をめぐり、保守系最大野党「国民の力」は5日、党の公認候補に尹錫悦・前検事総長(60)を選出した。文在寅(60)を支持する進歩(革新)系与党「共に民主党」の李在明・前京畿道知事(56)と事実上の一騎打ちの構図が固まった。

▼3面Ⅱ両候補とも渦中、9面Ⅱ宿題山積み

国民の力は今週に入り、次の大統領を目指す党内の候補者4人を対象に、党員投票と世論調査を実施。それぞれの結果を等しい比重で評価し、47・85%を得た尹氏を党の公認候補に選んだ。

2017年の前回大統領選にも出馬した国会議員の洪準杓氏(66)も41・50%を得て善戦したが、尹氏が党内レースを制した。尹氏は党の公認候補に選出された後、「文政権はこの国の理

念を、国民を分裂させた。(国民が)4年半の間にとれだけの苦痛を受けたか。必ず政権交代する」と語った。

尹氏は検事総長時代、進歩系の文大統領の側近を精力的に立件し、保守層から人気を集めて野党の最有力候補と目されるようになった。政治経験はない。検事総長を辞した後の今年6月、進歩から保守政権への交代を目指して大統領選に立候補する意思を表明。翌月には国民の力に入党した。

共に民主党は、城南市長や京畿道知事を歴任した李氏を公認候補に決めており、進歩系と保守系の2大政党による対決の構図が固まった。選挙戦にはほかに、中道野党「国民の党」の安哲秀代表(59)や、進歩系野党「正義党」の沈相奭元代表(62)も立候補を表明している。(ソウルⅡ鈴木拓也)